

令和4年4月 11 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

北上市内の保育所(園児 66 名、職員 24 名)

- (1) 4月8日(金)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、4月5日(火)から4月11日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児 (クラス別)				職員	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児		
男	1	1	2	3	0	7
女	1	4	5	1	2	13
計	2	5	7	4	2	20

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サボウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年4月11日	1	0	0	1
令和3年4月1日～ 令和3年4月11日	2 (53)	0 (0)	0 (3)	2 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年4月11日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年4月 14 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

北上市内の保育所(園児 68 名、職員 23 名)

- (1) 4月11日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、4月8日(金)から4月14日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	2	4	2	0	2	0	10
女	0	0	2	2	1	0	0	5
計	0	2	6	4	1	2	0	15

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からサポウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年4月14日	1	0	1	2
令和3年4月1日～ 令和3年4月14日	4 (53)	0 (0)	0 (3)	4 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年4月14日	0 (28)	0 (0)	0 (5)	0 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年4月 25 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 紫波町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 17 名、職員 13 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月19日(火)に、当該施設から県央保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月14日(木)から4月21日(木)にかけて、園児6名、職員5名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)			職員				計
	0歳児	1歳児	2歳児	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
男	0	3	3	0	1	0	0	7
女	0	0	0	2	0	1	1	4
計	0	3	3	2	1	1	1	11

(3) 調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 103 名、職員 31 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月22日(金)に、当該施設から県央保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月17日(日)から4月25日(月)にかけて、園児31名に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	2	5	6	2	1	16
女	2	4	1	7	1	0	15
計	2	6	6	13	3	1	31

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。

- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
 ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分 (公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年4月25日	2	0	2	4
令和3年4月1日～ 令和3年4月25日	6 (53)	0 (0)	0 (3)	6 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年4月25日	2 (28)	0 (0)	0 (5)	2 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|--|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
 ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
 ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
 ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年4月 26 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

二戸保健所管内の認定こども園(園児 64 名、職員 15 名)

- (1) 4月19日(火)に、当該こども園 園児の保護者から二戸保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、二戸保健所が調査を開始し、4月5日(火)から4月21日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児 (クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	4	3	2	4	2	0	16
女	0	2	4	4	3	4	0	17
計	1	6	7	6	7	6	0	33

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 二戸保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年4月26日	2	0	3	5
令和3年4月1日～ 令和3年4月26日	6 (53)	0 (0)	0 (3)	6 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年4月26日	2 (28)	0 (0)	0 (5)	2 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年5月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 83 名、職員 28 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月26日(火)に、当該施設から県央保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月15日(金)から4月25日(月)にかけて、園児37名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	4	0	5	5	2	17	0	17
女	0	5	0	5	7	3	20	0	20
計	1	9	0	10	12	5	37	0	37

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 133 名、職員 40 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月28日(木)に、当該施設から県央保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月13日(水)から5月2日(月)にかけて、園児32名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	4	10	4	0	0	18	0	18
女	0	6	6	2	0	0	14	0	14
計	0	10	16	6	0	0	32	0	32

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年5月9日	2	0	5	7
令和3年4月1日～ 令和3年5月9日	7 (53)	0 (0)	0 (3)	7 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年5月9日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年5月 17 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

金ケ崎町内の保育所(園児 119 名、職員 34 名)

- (1) 5月12日(木)に、当該保育所から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、5月7日(土)から5月16日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	5	3	4	0	2	0	15
女	4	2	0	3	0	0	0	9
計	5	7	3	7	0	2	0	24

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年5月17日	2	0	6	8
令和3年4月1日～ 令和3年5月17日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年5月17日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年5月 18 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

北上市内の保育所(園児 111 名、職員 34 名)

- (1) 5月16日(月)に、当該保育所から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月9日(月)から5月17日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)				職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		
男	4	1	5	1	0	11
女	1	5	1	0	1	8
計	5	6	6	1	1	19

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年5月18日	2	0	7	9
令和3年4月1日～ 令和3年5月18日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年5月18日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年5月 19 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古市内の保育所(園児 99 名、職員 30 名)

- (1) 5月18日(水)に、当該保育所から宮古保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月2日(月)から5月18日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

年齢	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員	合計
男	1	5	6	4	2	2	1	21
女	1	2	2	2	1	3	3	14
計	2	7	8	6	3	5	4	35

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年5月19日	3	0	7	10
令和3年4月1日～ 令和3年5月19日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年5月19日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年5月 24 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の保育所(園児 84 名、職員 31 名)

- (1) 5月19日(木)に、当該保育所から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月11日(水)から5月24日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)			計
	3歳児	4歳児	5歳児	
男	9	4	3	16
女	4	2	0	6
計	13	6	3	22

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年5月24日	3	0	8	11
令和3年4月1日～ 令和3年5月24日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年5月24日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年5月 27 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 矢巾町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 57 名、職員 18 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月19日(木)に、当該保育所から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月11日(水)から5月19日(木)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	3	2	3	1	10	0	10
女	0	0	0	2	5	0	7	1	8
計	0	1	3	4	8	1	17	1	18

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 中部保健所管内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 28 名、職員 17 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月25日(水)に、当該施設から中部保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月12日(木)から5月24日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)					計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	
男	2	1	4	1	1	9
女	0	3	0	0	0	3
計	2	4	4	1	1	12

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からサポウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 奥州市内の認定こども園

(1) 施設の概要について

園児 127 名、職員 45 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月25日(水)に、当該施設から奥州保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、5月14日(土)から5月25日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児1名(既に退院)も含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	4	4	2	3(1)	1	15(1)
女	1	1	1	1	3	1	8
計	2	5	5	3	6(1)	2	23(1)

()内は入院患者数

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年5月27日	3	0	12	15
令和3年4月1日～ 令和3年5月27日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年5月27日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年6月1日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古市内の保育所(園児 53 名、職員 17 名)

- (1) 5月27日(金)に、医療機関から宮古保健所へ、同保育所に在籍する複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月24日(火)から5月30日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

年齢	0～1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員	合計
男	1	1	1	1	0	0	4
女	3	3	1	2	2	0	11
計	4	4	2	3	2	0	15

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月1日	4	0	12	16
令和3年4月1日～ 令和3年6月1日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月1日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年6月2日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

釜石市内の認定こども園(園児 136 名、職員 40 名)

- (1) 5月31日(火)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、釜石保健所が調査を開始し、5月24日(火)から5月31日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員	計
男	0	3	3	0	0	0	0	6
女	0	5	1	0	1	0	0	7
計	0	8	4	0	1	0	0	13

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からサポウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月2日	4	0	13	17
令和3年4月1日～ 令和3年6月2日	8 (53)	0 (0)	0 (3)	8 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月2日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年6月7日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

八幡平市内の認定こども園(園児 101 名、職員 22 名)

- (1) 6月1日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月25日(水)から6月5日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

年齢	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員	合計
男	3	2	0	1	1	0	0	7
女	3	2	1	0	1	0	0	7
計	6	4	1	1	2	0	0	14

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月7日	5	0	13	18
令和3年4月1日～ 令和3年6月7日	10 (53)	0 (0)	0 (3)	10 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月7日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-6091】

令和4年6月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

北上市内の保育園(園児 136 名、職員 39 名)

- (1) 6月7日(火)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、6月5日(日)から6月9日(木)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

年齢	0, 1 歳児 クラス	2 歳児 クラス	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	職員	合計
男	3	1	2	3	0	0	9
女	1	3	2	3	1	1	11
計	4	4	4	6	1	1	20

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月9日	5	0	14	19
令和3年4月1日～ 令和3年6月9日	10 (53)	0 (0)	0 (3)	10 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月9日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルス及びノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 奥州市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 53 名、職員 27 名

(2) 有症者の状況等

ア 6月14日(火)に、当該保育所から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、6月6日(月)から6月14日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	1	3	0	0	5	0	5
女	0	2	1	2	1	0	6	0	6
計	0	3	2	5	1	0	11	0	11

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 奥州市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 109 名、職員 29 名

(2) 有症者の状況等

ア 6月14日(火)に、当該保育所から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、6月3日(金)から6月14日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	3	0	2	3	0	9	0	9
女	0	5	1	2	1	0	9	0	9
計	1	8	1	4	4	0	18	0	18

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からサポウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 宮古市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 49 名、職員 14 名

(2) 有症者の状況等

ア 6月14日(火)に、医療機関から宮古保健所へ、園児複数名が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月27日(金)から6月15日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

年齢	園児(クラス別)					職員	合計
	1・2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5	0	1	1	7	0	7
女	6	0	0	1	7	3	10
計	11	0	1	2	14	3	17

(3) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月16日	6	0	16	22
令和3年4月1日～ 令和3年6月16日	11 (53)	0 (0)	0 (3)	11 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月16日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。 ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。 ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。 ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。 |
|---|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年6月 23 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルス及びノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関市内のこども園(園児 96 名、職員 33 名)

- (1) 6月20日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、6月13日(月)から6月22日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	2	0	4	0	1	0	8
女	3	3	1	0	1	0	0	8
計	4	5	1	4	1	1	0	16

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からサポウイルスを検出。そのうち2名からはノロウイルスも検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月23日	6	0	17	23
令和3年4月1日～ 令和3年6月23日	11 (53)	0 (0)	0 (3)	11 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月23日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年6月 24 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州市内の幼稚園(園児 26 名、職員 10 名)

- (1) 6月21日(火)に、市教育委員会から奥州保健所へ、当該施設において複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、6月5日(日)から6月19日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)			職員	計
	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	2	4	0	6
女	1	3	1	0	5
計	1	5	5	0	11

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月 24 日	6	0	18	24
令和3年4月1日～ 令和3年6月 24 日	11 (53)	0 (0)	0 (3)	11 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月 24 日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年6月 29 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古市内の保育所(園児 30 名、職員 12 名)

- (1) 6月23日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、6月16日(木)から6月28日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	1	1	1	1	0	0	4
女	0	3	1	1	2	2	0	9
計	0	4	2	2	3	2	0	13

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月29日	6	0	19	25
令和3年4月1日～ 令和3年6月29日	11 (53)	0 (0)	0 (3)	11 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月29日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年6月30日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

滝沢市内の認定こども園(園児 189名、職員 39名)

- (1) 6月24日(金)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、6月21日(火)から6月27日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)			職員	計
	3歳児	4歳児	5歳児		
男	5	1	1	0	7
女	1	1	1	0	3
計	6	2	2	0	10

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からサポウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年6月30日	6	0	20	26
令和3年4月1日～ 令和3年6月30日	11 (53)	0 (0)	0 (3)	11 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年6月30日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年7月 19 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関市内の保育所(園児 69 名、職員 20 名)

- (1) 7月14日(木)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、6月28日(火)から7月18日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	2	7	1	1	0	0	0	11
女	3	3	1	1	0	1	0	9
計	5	10	2	2	0	1	0	20

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からサポウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年7月19日	6	0	21	27
令和3年4月1日～ 令和3年7月19日	12 (53)	0 (0)	1 (3)	13 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年7月19日	3 (28)	0 (0)	0 (5)	3 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年9月 13 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

八幡平市内の認定こども園(園児 103 名、職員 21 名)

- (1) 9月5日(月)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、9月1日(木)から9月11日(日)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	2	0	1	5	4	13	0	13
女	0	0	0	0	2	8	10	3	13
計	1	2	0	1	7	12	23	3	26

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年9月13日	7	0	21	28
令和3年4月1日～ 令和3年9月13日	13 (53)	0 (0)	1 (3)	14 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年9月13日	3 (28)	0 (0)	1 (5)	4 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年9月 16 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ヒトパレコウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児 110 名、職員 32 名)

- (1) 9月7日(水)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、8月23日(火)から9月12日(月)にかけて、園児に下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5	1	0	0	0	0	6	0	6
女	9	0	0	0	0	0	9	0	9
計	14	1	0	0	0	0	15	0	15

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者8名からヒトパレコウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年9月16日	7	0	22	29
令和3年4月1日～ 令和3年9月16日	13 (53)	0 (0)	1 (3)	14 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年9月16日	3 (28)	0 (0)	1 (5)	4 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年 12月8日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

花巻市内の保育所(園児 70 名、職員 20 名)

- (1) 12月7日(水)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、11月30日(水)から12月7日(水)にかけて、園児に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児3名(既に退院)も含め、有症者は回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	4(1)	0	0	0	0	5(1)	0	5(1)
女	0	4(2)	1	0	0	0	5(2)	0	5(2)
計	1	8(3)	1	0	0	0	10(3)	0	10(3)

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月8日	8	0	22	30
令和3年4月1日～ 令和3年12月8日	21 (53)	0 (0)	1 (3)	22 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月8日	7 (28)	0 (0)	3 (5)	10 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年 12 月 12 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の認定こども園(園児 72 名、職員 19 名)

- (1) 12月9日(金)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、11月21日(月)から12月11日(日)にかけて、園児に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児2名も含め、有症者は回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1,2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	5	3	3	0	13	0	13
女	2	8(2)	2	0	1	13(2)	0	13(2)
計	4	13(2)	5	3	1	26(2)	0	26(2)

()内は入院患者再掲

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月12日	9	0	22	31
令和3年4月1日～ 令和3年12月12日	21 (53)	0 (0)	1 (3)	22 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月12日	7 (28)	0 (0)	3 (5)	10 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年 12 月 15 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルス及びノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 北上市内の認定こども園

(1) 施設の概要について

園児 144 名、職員 36 名

(2) 有症者の状況等

- ア 12月12日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月3日(土)から12月14日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	4	4	3	3	1	0	15	0	15
女	1	5	2	0	0	0	8	0	8
計	5	9	5	3	1	0	23	0	23

(3) 調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 中部保健所管内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 13 名、職員7名

(2) 有症者の状況等

- ア 12月13日(火)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月2日(金)から12月12日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)					職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	計		
男	1	1	3	0	5	0	5
女	0	1	1	2	4	0	4
計	1	2	4	2	9	0	9

(3) 調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月15日	10	0	23	33
令和3年4月1日～ 令和3年12月15日	24 (53)	0 (0)	1 (3)	25 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月15日	7 (28)	0 (0)	3 (5)	10 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。 ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。 ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。 ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。 |
|---|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年12月21日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 花巻市内の認定こども園

(1) 施設の概要について

園児 48名、職員 19名

(2) 有症者の状況等

ア 12月19日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月15日(木)から12月18日(日)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	3	3	4	0	0	0	0	10
女	2	1	0	0	0	0	4	7
計	5	4	4	0	0	0	4	17

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分 (公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月21日	11	0	23	34
令和3年4月1日～ 令和3年12月21日	28 (53)	0 (0)	1 (3)	29 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月21日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年 12 月 23 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 中部保健所管内の認定こども園

(1) 施設の概要について

園児 78 名、職員 23 名

(2) 有症者の状況等

ア 12月21日(水)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月12日(月)から12月21日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区分	園児 (クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	4	0	4	0	0	0	0	8
女	1	0	2	1	0	1	3	8
計	5	0	6	1	0	1	3	16

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分 (公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月23日	12	0	23	35
令和3年4月1日～ 令和3年12月23日	28 (53)	0 (0)	1 (3)	29 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月23日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年 12 月 27 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の認定こども園

(1) 施設の概要について

園児 111 名、職員 28 名

(2) 有症者の状況等

- ア 12月20日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、12月6日(火)から12月26日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児1名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	4	9(1)	2	1	0	1	17(1)	0	17(1)
女	7	3	1	0	1	1	13	0	13
計	11	12(1)	3	1	1	2	30(1)	0	30(1)

() 内は入院患者数

(3) 調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月27日	13	0	23	36
令和3年4月1日～ 令和3年12月27日	30 (53)	0 (0)	1 (3)	31 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月27日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。 |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和4年 12 月 28 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルス及びノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 紫波町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 121 名、職員 36 名

(2) 有症者の状況等

ア 12月19日(月)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、12月16日(金)から12月21日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	4	0	1	0	0	8	0	8
女	1	5	0	0	0	2	8	1	9
計	4	9	0	1	0	2	16	1	17

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 遠野市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 39 名、職員 12 名

(2) 有症者の状況等

ア 12月26日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月16日(金)から12月26日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	2	2	2	2	9	0	9
女	1	0	6	0	1	2	10	1	11
計	1	1	8	2	3	4	19	1	20

(3) 調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルス、別の3名からサポウイルスを検出。

- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
 ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分 (公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和4年12月28日	14	0	24	38
令和3年4月1日～ 令和3年12月28日	30 (53)	0 (0)	1 (3)	31 (56)
令和2年4月1日～ 令和2年12月28日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|--|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
 ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
 ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
 ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月 11 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関市内の保育所(園児 134 名、職員 40 名)

- (1) 1月10日(火)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月6日(金)から1月11日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児4名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5(2)	0	1	1(1)	0	1	8(3)	0	8(3)
女	3(1)	1	0	1	0	0	5(1)	0	5(1)
計	8(3)	1	1	2(1)	0	1	13(4)	0	13(4)

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月 11 日	15	0	24	39
令和3年4月1日～ 令和4年1月 11 日	30 (53)	0 (0)	1 (3)	31 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月 11 日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月 12 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

大船渡市内の教育・保育施設(園児 53 名、職員 17 名)

- (1) 1月10日(火)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月4日(水)から1月9日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区 分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	1	5	0	1	1	9	0	9
女	0	1	3	0	0	0	4	0	4
計	1	2	8	0	1	1	13	0	13

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月12日	16	0	24	40
令和3年4月1日～ 令和4年1月12日	30 (53)	0 (0)	1 (3)	31 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月12日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月16日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

宮古保健所管内の教育・保育施設(園児33名、職員17名)

- (1) 1月13日(金)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が腹痛・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月11日(水)から1月16日(月)にかけて、園児に発熱・嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	2	2	0	0	6	12	0	12
女	0	1	2	2	1	3	9	0	9
計	2	3	4	2	1	9	21	0	21

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月16日	17	0	24	41
令和3年4月1日～ 令和4年1月16日	31 (53)	0 (0)	1 (3)	32 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月16日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月17日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

金ケ崎町内の認定こども園(園児109名、職員29名)

- (1) 1月13日(金)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、1月12日(木)から1月15日(日)にかけて、園児に下痢・発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	0	0	0	6	0	6	0	6
女	0	0	0	0	6	1	7	0	7
計	0	0	0	0	12	1	13	0	13

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者1名からサポウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月17日	18	0	25	43
令和3年4月1日～ 令和4年1月17日	32 (53)	0 (0)	1 (3)	33 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月17日	7 (28)	0 (0)	4 (5)	11 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月19日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 一関市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児102名、職員38名

(2)有症者の状況等

- ア 1月18日(水)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が下痢・嘔吐の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月10日(火)から1月19日(木)にかけて、園児に下痢・嘔吐等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	4	3	0	1	0	10	0	10
女	7	5	2	0	0	0	14	0	14
計	9	9	5	0	1	0	24	0	24

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古保健所管内の保育所

(1)施設の概要について

園児57名、職員21名

(2)有症者の状況等

- ア 1月18日(水)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児及び職員が腹痛・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月14日(土)から1月19日(木)にかけて、園児及び職員に発熱・嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児1名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人) ()内は入院患者数

区分	園児(クラス別)				職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	計		
男	6	3	1	10	0	10
女	3(1)	2	1	6	2	8
計	9(1)	5	2	16	2	18

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月19日	20	0	25	45
令和3年4月1日～ 令和4年1月19日	32 (53)	0 (0)	1 (3)	33 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月19日	9 (28)	0 (0)	4 (5)	13 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|--|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月24日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 一関市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児109名、職員29名

(2)有症者の状況等

- ア 1月18日(水)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月17日(火)から1月24日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	6	0	0	3	2	0	11	0	11
女	4	0	0	0	0	0	4	0	4
計	10	0	0	3	2	0	15	0	15

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古保健所管内の特別養護老人ホーム

(1)施設の概要について

入所者68名、職員49名

(2)有症者の状況等

- ア 1月20日(金)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の入所者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月18日(水)から1月24日(火)にかけて、入所者及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した入所者1名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人) ()内は入院患者数

年齢	入所者						職員	合計
	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	計		
男	0	0	3	0	0	3	5	8
女	0	0	10	6(1)	1	17(1)	8	25(1)
計	0	0	13	6(1)	1	20(1)	13	33(1)

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月24日	25	0	25	50
令和3年4月1日～ 令和4年1月24日	34 (53)	0 (0)	1 (3)	35 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月24日	10 (28)	0 (0)	4 (5)	14 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|--|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|--|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 一関市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児90名、職員25名

(2)有症者の状況等

ア 1月20日(金)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が下痢、嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月4日(水)から1月25日(水)にかけて、園児に下痢、嘔吐等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	4	0	1	0	0	0	5	0	5
女	5	0	0	2	1	0	8	0	8
計	9	0	1	2	1	0	13	0	13

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児216名、職員35名

(2)有症者の状況等

ア 1月23日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月10日(火)から1月25日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	2	4	0	1	4	12	0	12
女	0	5	0	2	0	1	8	0	8
計	1	7	4	2	1	5	20	0	20

(3)調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 一関市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児178名、職員39名

(2)有症者の状況等

- ア 1月23日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月10日(火)から1月25日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	1	4	2	2	1	13	0	13
女	1	0	7	2	2	0	12	1	13
計	4	1	11	4	4	1	25	1	26

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からサポウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

4 大船渡保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児128名、職員29名

(2)有症者の状況等

- ア 1月23日(月)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月11日(水)から1月23日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	7	0	0	0	0	0	7	0	7
女	2	0	0	0	0	0	2	2	4
計	9	0	0	0	0	0	9	2	11

(3)調査結果について

- ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月25日	30	0	26	56
令和3年4月1日～ 令和4年1月25日	34 (53)	0 (0)	1 (3)	35 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月25日	11 (28)	0 (0)	4 (5)	15 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。 ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。 ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。 ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。 |
|---|

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月27日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

滝沢市内の認定こども園(園児134名、職員47名)

- (1) 1月23日(月)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月13日(金)から1月26日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	6	3	1	1	0	1	12	0	12
女	6	0	0	1	0	0	7	0	7
計	12	3	1	2	0	1	19	0	19

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月27日	33	0	26	59
令和3年4月1日～ 令和4年1月27日	34 (53)	0 (0)	1 (3)	35 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月27日	12 (28)	0 (0)	4 (5)	16 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年1月30日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

釜石市内の認定こども園(園児82名、職員29名)

- (1) 1月27日(金)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、釜石保健所が調査を開始し、1月25日(水)から1月30日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児2名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	8(1)	4(1)	5	1	1	1	20(2)	0	20(2)
女	3	3	2	1	1	0	10	2	12
計	11(1)	7(1)	7	2	2	1	30(2)	2	32(2)

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月30日	34	0	26	60
令和3年4月1日～ 令和4年1月30日	35 (53)	0 (0)	1 (3)	36 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月30日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の介護老人保健施設

(1)施設の概要について

利用者100名、職員69名

(2)有症者の状況等

- ア 1月24日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月20日(金)から1月29日(日)にかけて、利用者及び職員に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	利用者							職員	合計
	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	計		
男	1	0	0	3	1	0	5	0	5
女	0	2	3	7	8	1	21	9	30
計	1	2	3	10	9	1	26	9	35

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 八幡平市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児110名、職員21名

(2)有症者の状況等

- ア 1月26日(木)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月11日(水)から1月29日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	5	3	1	1	1	11	0	11
女	1	7	2	1	1	0	12	0	12
計	1	12	5	2	2	1	23	0	23

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 二戸市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児160名、職員48名

(2)有症者の状況等

ア 1月26日(木)に、当該施設から二戸保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、二戸保健所が調査を開始し、1月25日(水)から1月27日(金)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)						職員	合計	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児			計
男	10	5	0	0	0	0	15	0	15
女	3	6	4	0	0	0	13	0	13
計	13	11	4	0	0	0	28	0	28

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 二戸保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年1月31日	37	0	26	63
令和3年4月1日～ 令和4年1月31日	35 (53)	0 (0)	1 (3)	36 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年1月31日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月1日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州市内の認定こども園(園児131名、職員44名)

- (1) 1月30日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、1月27日(金)から2月1日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	0	0	1	2	0	3	0	3
女	0	0	0	1	6	1	8	0	8
計	0	0	0	2	8	1	11	0	11

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月1日	41	0	27	68
令和3年4月1日～ 令和4年2月1日	36 (53)	0 (0)	1 (3)	37 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月1日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の保育所

(1)施設の概要について

園児128名、職員37名

(2)有症者の状況等

ア 1月27日(金)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月19日(木)から1月29日(日)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	2	1	1	0	1	8	0	8
女	6	2	4	1	0	2	15	1	16
計	9	4	5	2	0	3	23	1	24

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 花巻市内の保育所

(1)施設の概要について

園児85名、職員20名

(2)有症者の状況等

ア 1月31日(火)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月11日(水)から1月29日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	5	2	1	2	0	10	0	10
女	4	1	2	0	1	0	8	0	8
計	4	6	4	1	3	0	18	0	18

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月2日	42	0	28	70
令和3年4月1日～ 令和4年2月2日	36 (53)	0 (0)	1 (3)	37 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月2日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月3日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関市内の認定こども園（園児83名、職員25名）

- (1) 1月30日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月26日(木)から2月3日(金)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位:人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	2	2	2	2	0	10	0	10
女	0	0	2	1	0	0	3	1	4
計	2	2	4	3	2	0	13	1	14

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月3日	45	0	29	74
令和3年4月1日～ 令和4年2月3日	36 (53)	0 (0)	1 (3)	37 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月3日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 奥州市内の保育所

(1)施設の概要について

園児109名、職員30名

(2)有症者の状況等

ア 2月2日(木)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、1月22日(日)から2月3日(金)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児1名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

()内は入院患者数

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3(1)	0	0	1	2	0	6(1)	0	6(1)
女	2	1	1	0	0	0	4	0	4
計	5(1)	1	1	1	2	0	10(1)	0	10(1)

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児47名、職員13名

(2)有症者の状況等

ア 2月3日(金)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、1月28日(土)から2月6日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	3	3	0	0	1	8	0	8
女	0	3	2	1	0	0	6	0	6
計	1	6	5	1	0	1	14	0	14

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

(裏面に続きます)

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月6日	49	0	30	79
令和3年4月1日～ 令和4年2月6日	38 (53)	0 (0)	1 (3)	39 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月6日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月8日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

滝沢市内の保育所(園児144名、職員40名)

- (1) 2月1日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月29日(日)から2月6日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5	1	2	0	1	0	9	0	9
女	1	0	0	0	1	0	2	2	4
計	6	1	2	0	2	0	11	2	13

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月8日	51	0	31	82
令和3年4月1日～ 令和4年2月8日	40 (53)	0 (0)	1 (3)	41 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月8日	14 (28)	0 (0)	4 (5)	18 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関市内の認定こども園（園児99名、職員26名）

- (1) 2月6日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月17日(火)から2月9日(木)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位:人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	6	4	3	3	0	0	16	0	16
女	0	3	4	0	2	1	10	0	10
計	6	7	7	3	2	1	26	0	26

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月9日	51	0	32	83
令和3年4月1日～ 令和4年2月9日	42 (53)	0 (0)	1 (3)	43 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月9日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月10日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

釜石市内の認定こども園（園児85名、職員23名）

- (1) 2月6日(月)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、釜石保健所が調査を開始し、2月1日(水)から2月8日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児1名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3(1)	0	0	0	5	0	8(1)	0	8(1)
女	0	0	1	2	1	0	4	0	4
計	3(1)	0	1	2	6	0	12(1)	0	12(1)

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月10日	55	0	33	88
令和3年4月1日～ 令和4年2月10日	42 (53)	0 (0)	1 (3)	43 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月10日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月13日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

北上市内の保育所(園児66名、職員22名)

- (1) 2月9日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、2月4日(土)から2月10日(金)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	1	1	1	2	1	9	0	9
女	2	3	0	0	1	1	7	3	10
計	5	4	1	1	3	2	16	3	19

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月13日	56	0	33	89
令和3年4月1日～ 令和4年2月13日	42 (53)	0 (0)	1 (3)	43 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月13日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 矢巾町内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児157名、職員33名

(2)有症者の状況等

ア 2月10日(金)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月30日(月)から2月10日(金)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	0	0	6	0	0	6	0	6
女	0	0	0	8	0	0	8	0	8
計	0	0	0	14	0	0	14	0	14

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 中部保健所管内の保育所

(1)施設の概要について

園児98名、職員27名

(2)有症者の状況等

ア 2月13日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、2月4日(土)から2月11日(土)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	0	0	2	0	3	5	0	5
女	1	0	1	0	1	2	5	0	5
計	1	0	1	2	1	5	10	0	10

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

(裏面に続きます)

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月15日	59	0	35	94
令和3年4月1日～ 令和4年2月15日	42 (53)	0 (0)	1 (3)	43 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月15日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月16日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

二戸保健所管内の教育・保育施設（園児107名、職員33名）

- (1) 2月13日(月)に、医療機関から二戸保健所へ、当該施設に通う複数名の園児を感染性胃腸炎と診断した旨の連絡あり。
- (2) 同日から、二戸保健所が調査を開始し、2月6日(月)から2月15日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	3	8	3	1	0	18	0	18
女	1	0	5	3	2	1	12	0	12
計	4	3	13	6	3	1	30	0	30

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者17名からノロウイルスを検出。
- (2) 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 二戸保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区分（公表日ベース）	ノロウイルス	ロタウイルス	その他（サポウイルス等）	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月16日	60	0	35	95
令和3年4月1日～ 令和4年2月16日	42 (53)	0 (0)	2 (3)	44 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月16日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月17日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の教育・保育施設（園児91名、職員21名）

- (1) 2月15日(水)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、2月10日(金)から2月15日(水)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位:人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	4	4	0	5	1	1	15	0	15
女	1	0	0	1	0	0	2	0	2
計	5	4	0	6	1	1	17	0	17

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件）

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月17日	62	0	35	97
令和3年4月1日～ 令和4年2月17日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月17日	15 (28)	0 (0)	4 (5)	19 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 奥州市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児85名、職員40名

(2)有症者の状況等

ア 2月16日(木)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月14日(火)から2月18日(土)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児1名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

()内は入院患者数

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	0	1	1	1	1	7	0	7
女	3 (1)	0	1	0	0	1	5 (1)	0	5 (1)
計	6 (1)	0	2	1	1	2	12 (1)	0	12 (1)

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児9名、職員10名

(2)有症者の状況等

ア 2月15日(水)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、2月14日(火)から2月20日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児1名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

()内は入院患者数

区分	園児(クラス別)				職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	計		
男	1	2 (1)	2	5 (1)	0	5 (1)
女	0	1	1	2	0	2
計	1	3 (1)	3	7 (1)	0	7 (1)

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月20日	64	0	35	99
令和3年4月1日～ 令和4年2月20日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月20日	16 (28)	0 (0)	5 (5)	21 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 雫石町内の保育所

(1)施設の概要について

園児93名、職員24名

(2)有症者の状況等

ア 2月20日(月)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、2月2日(木)から2月20日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	1	3	3	0	1	9	0	9
女	2	0	0	2	2	0	6	0	6
計	3	1	3	5	2	1	15	0	15

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児55名、職員19名

(2)有症者の状況等

ア 2月20日(月)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、2月7日(火)から2月20日(月)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	4	4	0	0	4	13	0	13
女	0	1	2	1	1	1	6	2	8
計	1	5	6	1	1	5	19	2	21

(3)調査結果について

ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月21日	66	0	35	101
令和3年4月1日～ 令和4年2月21日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月21日	16 (28)	0 (0)	5 (5)	21 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月22日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

一関保健所管内の保育所(園児104名、職員23名)

- (1) 2月13日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、2月3日(金)から2月19日(日)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児3名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	4	2	4	5	3	0	18	0	18
女	3	6(1)	5(1)	0	0	5(1)	19(3)	3	22(3)
計	7	8(1)	9(1)	5	3	5(1)	37(3)	3	40(3)

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者9名からロタウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月22日	66	1	35	102
令和3年4月1日～ 令和4年2月22日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月22日	16 (28)	0 (0)	5 (5)	21 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 奥州市内の保育所

(1)施設の概要について

園児98名、職員30名

(2)有症者の状況等

ア 2月20日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月15日(水)から2月21日(火)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	0	0	0	1	0	3	0	3
女	4	0	2	0	0	1	7	1	8
計	6	0	2	0	1	1	10	1	11

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 釜石市内の保育所

(1)施設の概要について

園児61名、職員20名

(2)有症者の状況等

ア 2月21日(火)に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、釜石保健所が調査を開始し、2月13日(月)から2月21日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	1	0	3	0	1	7	0	7
女	1	2	0	0	0	0	3	0	3
計	3	3	0	3	0	1	10	0	10

(3)調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月24日	68	1	35	104
令和3年4月1日～ 令和4年2月24日	43 (53)	0 (0)	2 (3)	45 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月24日	16 (28)	0 (0)	5 (5)	21 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年2月28日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児121名、職員31名)

- (1) 2月24日(金)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月13日(月)から2月27日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児1名(既に退院)も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5(1)	0	0	1	3	0	9(1)	0	9(1)
女	8	0	1	1	2	0	12	0	12
計	13(1)	0	1	2	5	0	21(1)	0	21(1)

()内は入院患者数

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年2月28日	69	1	35	105
令和3年4月1日～ 令和4年2月28日	45 (53)	0 (0)	2 (3)	47 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年2月28日	17 (28)	0 (0)	5 (5)	22 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月2日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児110名、職員36名)

- (1) 2月21日(火)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月19日(日)から2月26日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	0	0	0	5	0	7	0	7
女	1	0	1	0	2	0	4	0	4
計	3	0	1	0	7	0	11	0	11

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からサポウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月2日	70	1	36	107
令和3年4月1日～ 令和4年3月2日	47 (53)	0 (0)	2 (3)	49 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月2日	17 (28)	0 (0)	5 (5)	22 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 県央保健所管内の教育・保育施設

(1)施設の概要について

園児92名、職員31名

(2)有症者の状況等

- ア 3月1日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、2月28日(火)から3月5日(日)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	4	0	0	1	2	1	8	0	8
女	5	0	1	0	0	0	6	0	6
計	9	0	1	1	2	1	14	0	14

(3)調査結果について

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児85名、職員29名

(2)有症者の状況等

- ア 3月3日(金)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、2月13日(月)から3月7日(火)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児2名も含め、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人) ()内は入院患者数

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	4	4	3(1)	1	1	14(1)	0	14(1)
女	0	3(1)	4	3	0	0	10(1)	0	10(1)
計	1	7(1)	8	6(1)	1	1	24(2)	0	24(2)

(3)調査結果について

- ア 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月7日	74	1	36	111
令和3年4月1日～ 令和4年3月7日	50 (53)	0 (0)	2 (3)	52 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月7日	18 (28)	0 (0)	5 (5)	23 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月9日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

大船渡保健所管内の教育・保育施設(園児127名、職員29名)

- (1) 3月8日(水)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、3月5日(日)から3月8日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	1	5	2	3	0	1	12	0	12
女	0	2	2	0	0	0	4	2	6
計	1	7	4	3	0	1	16	2	18

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月9日	75	1	36	112
令和3年4月1日～ 令和4年3月9日	50 (53)	0 (0)	2 (3)	52 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月9日	19 (28)	0 (0)	5 (5)	24 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月10日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

八幡平市内の認定こども園（園児97名、職員19名）

- (1) 3月7日(火)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月2日(木)から3月6日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	0	1	0	3	0	6	0	6
女	1	0	2	0	1	1	5	0	5
計	3	0	3	0	4	1	11	0	11

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区分（公表日ベース）	ノロウイルス	ロタウイルス	その他（サポウイルス等）	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月10日	76	1	36	113
令和3年4月1日～ 令和4年3月10日	50 (53)	0 (0)	2 (3)	52 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月10日	20 (28)	0 (0)	5 (5)	25 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月14日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州保健所管内の障がい者支援施設(利用者46名、職員37名)

- (1) 3月10日(金)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の利用者が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月6日(月)から3月12日(日)にかけて、利用者及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	利用者(年代別)						職員	合計
	20代	30代	40代	50代	60代	計		
男	0	0	3	2	2	7	9	16
女	1	2	0	6	4	13	7	20
計	1	2	3	8	6	20	16	36

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月14日	79	1	36	116
令和3年4月1日～ 令和4年3月14日	50 (53)	0 (0)	2 (3)	52 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月14日	21 (28)	0 (0)	5 (5)	26 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月20日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

中部保健所管内の保育所(園児98名、職員27名)

- (1) 3月16日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、3月10日(金)から3月18日(土)にかけて、園児に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	0	2	4	1	8	0	8
女	0	2	2	2	3	0	9	0	9
計	0	3	2	4	7	1	17	0	17

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルス及びサポウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月20日	81	1	37	119
令和3年4月1日～ 令和4年3月20日	51 (53)	0 (0)	2 (3)	53 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月20日	23 (28)	0 (0)	5 (5)	28 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 北上市内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児142名、職員36名

(2)有症者の状況等

ア 3月20日(月)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、3月16日(木)から3月22日(水)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	3	2	1	2	0	1	9	0	9
女	3	4	1	1	0	1	10	2	12
計	6	6	2	3	0	2	19	2	21

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 久慈保健所管内の認定こども園

(1)施設の概要について

園児117名、職員28名

(2)有症者の状況等

ア 3月13日(月)に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、久慈保健所が調査を開始し、2月27日(月)から3月17日(金)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	2	8	2	0	1	5	18	0	18
女	7	7	0	1	3	2	20	5	25
計	9	15	2	1	4	7	38	5	43

(3)調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

イ 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 久慈保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 久慈保健所管内の介護保険事業所

(1)施設の概要について

利用者28名、職員20名

(2)有症者の状況等

ア 3月15日(水)に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、久慈保健所が調査を開始し、3月11日(土)から3月19日(日)にかけて、利用者に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位:人) ()内は入院患者数

区分	施設入所者				職員	合計
	70歳代	80歳代	90歳代	計		
男	0	3(1)	0	3(1)	1	4(1)
女	1(1)	2(1)	1	4(2)	4	8(2)
計	1(1)	5(2)	1	7(3)	5	12(3)

(3)調査結果について

ア 医療機関及び環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 久慈保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月23日	84	1	37	122
令和3年4月1日～ 令和4年3月23日	51 (53)	0 (0)	2 (3)	53 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月23日	25 (28)	0 (0)	5 (5)	30 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月27日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

奥州市内の保育所(園児110名、職員36名)

- (1) 3月23日(木)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月20日(月)から3月25日(土)にかけて、園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	5	2	0	0	1	0	8	0	8
女	5	3	2	1	2	0	13	2	15
計	10	5	2	1	3	0	21	2	23

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月27日	85	1	37	123
令和3年4月1日～ 令和4年3月27日	51 (53)	0 (0)	2 (3)	53 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月27日	26 (28)	0 (0)	5 (5)	31 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】

令和5年3月31日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 発症状況等について

県央保健所管内の介護保険事業所(利用者75名、職員73名)

- (1) 3月29日(水)に、当該施設から県央保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月12日(日)から3月30日(木)にかけて、利用者及び職員に嘔吐、下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者はなく、いずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	利用者							職員	合計
	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計		
男	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	0	0	0	1	4	3	8	2	10
計	0	0	0	1	4	3	8	3	11

2 調査結果について

- (1) 医療機関で実施した糞便検査の結果、有症者9名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区分(公表日ベース)	ノロウイルス	ロタウイルス	その他(サポウイルス等)	合計
令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	86	1	37	124
令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	53 (53)	0 (0)	3 (3)	56 (56)
令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	28 (28)	0 (0)	5 (5)	33 (33)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 三浦・佐々木 019-629-5417】